

## メキシコ共和国チャピngo自治大学長期留学

2018年9月8日

生産環境工学科4年 上野 円

私がメキシコ共和国チャピngo自治大学長期留学に参加し、1ヶ月が過ぎました。毎日が過ぎるのがとても早く、留学の十二分の一が終わってしまったと思うと複雑な心情になります。

こちらでの生活場所としては、外国人留学生が集まっている寮が大学近くにありそこで暮らしています。外国人留学生といっても、その殆どが南米圏の方が多く、アジア系の留学生は農大の留学生二人だけです。皆さん気が良い方々が殆どで、スペイン語があまり話せない私たちにとってもよくしてくださいます。チャピngo自治大学には、食堂もあり、留学生は月約一万円で三食いただくことができます。なので、殆ど生活費には困らず暮らすことができいております。学内にも、有料で食事がいただけるところ（大体200~400円）で美味しい食事を取ることもできます。また、歩いて30分ほどかかりますが、日本人の方が経営されているラーメン屋もあり、箸が恋しくなったときに食べに行っています。

授業に関しては全てスペイン語で行われており、圧倒的リスニング力不足に苦心しています。最近では、それなりに聞こえるようになってきたのですが、私自身の単語数が少なくまだ十分に理解できていない状態です。先輩方も仰っていたとおりのスペイン語学習は死活問題だと痛感しています。肝心のスペイン語については、来月から自費ですが、先生がついてくださることになり、スペイン語力を向上させていきたいです。

この1ヶ月のなかで、一番の感動を覚えたのが、テオティワカン遺跡に行ったことがあります。数千年前から存在している、太陽のピラミッド、月のピラミッドそして、ケツゥアルコアトルのピラミッドの3つのピラミッドがあります。高さの面では、太陽のピラミッドが一番高く、頂上まで登ることができます。そこから見る景色はなかなか壮観で、周りを一望することができます。彫刻に注目するのであれば、ケツゥアルコアトルのピラミッドがもっとも良いと思います。マヤやインカといったメキシコの古代文明に共通する最高神の柱であり、様々な役割を兼任する神を奉るピラミッドですが、彫刻がとてもきれいで残っており、歴史のロマンを感じることができます。

その他、メキシコシティーに行ったり、メキシコ名物のお酒を飲んだり、書きたいことが多くありますが、今回の報告はこのぐらいにさせていただきます。1ヶ月がたち、生活にも慣れてきたので、来月は日本から持ってきた実験道具を用いて予備実験を行う、本格的にスペイン語の勉強を始めるなどしていきたいです。まだ報告は11回分残っていますが、少しでも私自身の進歩をお見せできたらと思います。これからもよろしくお願いたします。

